

論文要旨

経済政策は、国家の活動の内実に影響を及ぼす重要な政策である。また、社会的に広く人々に共有された特定の「物語」の存在が、一国の経済そのものを左右し得ることが指摘されている。さらに、マスメディアが人々の意識に影響を及ぼすことが、様々な実証研究で示唆されている。そのため、現在の日本において、経済政策が採用されてきた背景を理解する上で、マスメディアがどういった「物語」を想定しているのかを把握することは、大きな意味を持つと考えられよう。

本研究では、マスメディアの中でも日本において重要な情報源の一つと考えられる新聞、特にその社説を対象として、新聞各社が想定している「物語」について、定量的な分析を行った。分析の結果、新聞各社が日本の経済政策に関して、ある特定の「物語」を共有していることが示唆された。